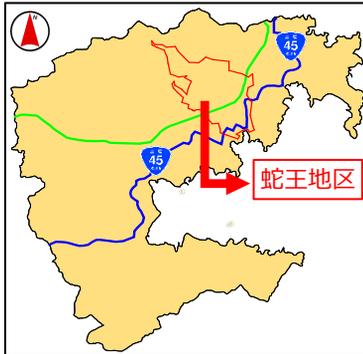


～ 「蛇王（じゃおう）」 名前の由来について ～

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが、今年最初のけせんぬまreportは、へび年に因んで、南三陸町志津川の蛇王という地名の由来について紹介したいと思います！

蛇王の名前の由来は、明文化されている訳ではありませんが、町史や別の書籍に記載のある説を紹介します！



＜蛇王地区について＞

- ・南三陸町の中央部にある志津川エリアで、エリア大半が山地となっている。
- ・国道45号は、蛇王地区に900m通っている。また、三陸道は1.2km通っています。

蛇王の地名の由来3説

- ①「蔵王権現」の蔵王、が変化して蛇王になった説
- ②蛇王地区にある川の水が蛇のように二ヨロニヨロ流れていたことからそう呼ばれるようになった説
- ③八大龍王（天龍八部衆に所属する竜族の八王）の八王が変化して蛇王になった説

＜解説＞

- ①南三陸町とのつながりは、入谷地区に蔵王権現の伝承が残っています。その象徴として立派なケヤキが立っています。（書籍：南三陸山城石塔より）
- ②この川は現在「蛇王川」と呼ばれています。川の水が止まることなく蛇のように流れていたことからそのように呼ばれているのかもしれませんが。（書籍：志津川物語）
- ③八大龍王の龍は蛇が神格化したものとされており、雲や雨をもたらすとされています。八王と蛇をかけて蛇王と呼ばれるようになったのかもしれませんが。（書籍：志津川町史2 生活の喜び）

※気になる単語やわからないことがあれば下記の番号までご連絡ください！

①入谷のケヤキ



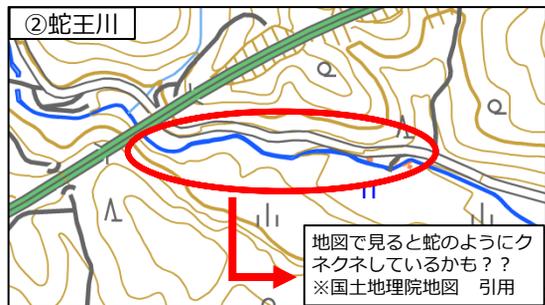
③戸倉波伝谷の八大龍王の石碑



気仙沼バイパスで見つけたアオダイショウ ※令和6年6月



②蛇王川



今年はへび年ということで、蛇は脱皮を繰り返し成長していく生き物です。人も同じように、新しい経験や学びを通じて自分を成長させることができます。ときには、失敗や困難を経験することもあると思います。しかし、それらを新たな挑戦の機会として受け入れることで、自分自身の成長に繋がっていくのではないかと思います。

今年はたくさんのご事に挑戦し、成長していける年にしていましましょう！本年もどうぞよろしくお願いいたします！